

学校教育自己診断の結果と分析〔平成 27 年 12 月実施分〕

1 アクティブラーニング型授業の推進により、授業に関する項目の評価値が上昇し、授業の質の向上につながった。

①「自分の考えをまとめたり、話し合ったり発表する」 53%⇒63%

特に 1 年生の授業について評価値が高かった。 1 年 37%⇒64%

②「I C Tを活用した授業が多い」 44%⇒64%

2「学校に行くのが楽しい」という生徒が増加。 70%⇒77%

3「学校生活についての先生の指導」には納得感がない。 45%⇒43%

4 保護者の「わかりやすく楽しい授業」の評価値は変わらず。

生徒理解の高い授業をめざすことが次年度への課題 54%⇒51%

5 保護者の H P利用率は大幅に改善。 37%⇒66%

携帯メールの発信についても評価が得られた。

6 学校行事の規制について改善を求める声が多く寄せられた。生徒、保護者がともに楽しめる行事となるよう、見直しを進める。